

京都市小学校教科書選定委員会 答申

生活科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。
- 5 生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

生活科

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい生活」

児童の発達段階に配慮した身近で取り組みやすい学習活動や教材が取り上げられている。単元冒頭で活動写真を載せることで、児童の学習への意欲を引き出し、学習を進める中で、話し合いや協力をしあうことで、気付きの質が高まる姿を具体的に示した「学びをふかめる」のコーナーが設定されており、気付きを引き出す工夫がされている。

表現や交流をする方法や様子を、学習活動の流れに合わせて分かりやすいイラスト等で例示し、試行錯誤や児童同士の交流を促すことで、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

学習のめあてなどの提示箇所を統一してレイアウトし見やすくすることで、見通しをもちやすく、季節のまとまりごとに色分けして学習活動を示することで、季節のまとまりを意識しながら学習することができる構成になっており優れている。

巻末に、学習や実生活に必要な知識や技能を示した「かつどう べんりてちょう」や身近な生き物や植物の図鑑を配置し、生活上必要な習慣や技能を育み、知識を習得できるように配慮されている。また、街並みの様子を四季ごとに同一定点で描写するなど、四季の変化や社会及び動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻冒頭では、幼児期の経験を生かす活動を例示、下巻では中学年での社会科、理科、総合的な学習の時間との接続を意識した学習活動が配置されており、就学前の経験や他学年との連携によく配慮されている。

■大日本図書「たのしいせいかつ」

児童の身近にあるものを学習対象とし、実生活との関連を意識できる題材が設定されており、登場人物等のセリフなどから、思考を促したり、気付きを引き出したりする工夫がなされている。

イラスト等の児童のつぶやきや会話を多数掲載することで試行錯誤を促し、単元の振り返りでは、多様な表現方法や発信の仕方について具体的に教室の様子を交えながら例示することで、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

見開きごとに活動内容が整理され、何をすればよいかの分かりやすく示されており、学習の見通しがもちやすい工夫がされている。また、単元末の振り返りでは、自分の考えを記載する欄が、発達段階を踏まえた内容で設定され、活動を通して得た満足感や達成感を実感できる工夫がされている。

巻末に、学習に必要な知識や技能を示した「かくしゅうどうぐばこ」が設定され、生活上必要な習慣などを育めるよう配慮されている。季節ごとにその時々に応じた活動が設定されており、季節に関連した昔遊びや地域の行事、日本固有の風物詩などを取り上げるなど、四季の変化や社会及び

動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻冒頭では、児童が安心して学校生活や学習に入れるよう学校生活の楽しさや、マナーなどを提示したページを設定し、幼児期からの連携に配慮されている。

■学校図書「みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ」

身近な人々や社会及び自然を題材とし、そのよさ等に気付き、児童の実生活につなげやすいよう工夫されている。単元冒頭には魅力的な写真などを使った扉ページを設けて児童の学習意欲を引き出す工夫がされている。

児童の気付きや思いを多様な表現方法で例示している。状況に応じて、活動を行う際の教室内の具体的なレイアウトなどを提示し、児童が活動の様子をイメージしやすいように配慮されている。

各活動が見開きページで完結し、小単元の活動にも見通しが持ちやすく、また、各見開き左上には、活動のめあてと子どもの思いや願いをもとにした言葉と、各見開き右下には次の学習へつながる言葉が掲載されており、紙面レイアウトや構成でも見通しが持ちやすいよう工夫されている。

巻末の「せいかつか まなびかたずかん」では、「話す」「聞く」「書く」「考える」などの技能が具体的に示されており、実生活において活用できる技能や知識を身に付け、児童が主体的に活動を広げていけるよう工夫がされている。四季の遊びについて、その季節に出会える素材を使った遊びや行事を掲載し、同一場面の定点描写を掲載するなど、四季の変化や社会及び動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻冒頭では、幼児期の経験や活動を提示しながら、小学校への不安を解消するためのページが設定され、下巻では、「理科へのまど」といった発展的な活動や、3年生から始まる教科を紹介するページを設けるなど、就学前の経験や他学年との連携に配慮・工夫がされている。

■教育出版「せいかつ」

身近にあるものや場所から、段階に応じて行動範囲が広がるよう単元が構成され、生活科の教科目標から「6つの力」を抽出してサイコロで表したものをページ左上に示すことで、学習のめあてがつかみやすいよう工夫されている。

各ページにある「？」の問いかけで気付きの質を高める工夫がなされ、各単元末では、試行錯誤や成長の過程がわかる学習カードなどの例が分かりやすく示されており、児童が試行錯誤する際の一助になるよう工夫されている。また、付箋を使って整理する活動などの例示や、板書例から思考の流れが見えるよう工夫され、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう配慮されている。

親しみやすいキャラクターを登場させ、単元導入の「わくわくスイッチ」、思いや考えを引き出す「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」などが設けられ、児童の探究意欲を高め、主体的な学びを促す工夫がされている。

巻末の「学びのポケット」では、生活科の学習で身につけた、実生活において活用できる資質・能力を、他教科等の学習でも関連づけられるようアイコンなどでわかりやすく提示し、良く工夫されている。

四季を意識させる問いかけや、伝統文化や行事を掲載したり、季節ごとの同一場面の定点描写を掲載したりするなど、四季の変化や社会及び動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻巻頭では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とそれに相当する小学生の姿を同じページで示し、幼児期の学びが小学校でも活かされるよう工夫され、下巻では3年生の学習を見に行く活動を設定したり、理科や社会科の学習を紹介したりするなど就学前・中学年との接続に配慮・工夫がされている。

■信州教育出版社「せいかつ」

単元を象徴する写真や挿絵を見開き全面に掲載し、児童の活動意欲を高めるような工夫がされ、季節の変化とかかわりのある地域の行事などに根差した人・もの・ことの単元や、自然豊かな地域で、豊富な動植物や地域の伝統行事等に関わりながら体験と表現を重ねる単元など、活動の楽しさや満足感につながるように工夫されている。また、地域の慣習や行事に目を向けた活動や資料を豊富に掲載し、地域に密着した人・もの・ことを取り入れ、ふるさとへの愛着を深められるよう意識されているが、特定の地域や環境に限定されるものであり、本市での生活体験から乖離しているため、実感を持った学習が進めにくい。

児童の思いや願いから単元が始まり、友達同士の学び合いや情報交換へと学習が展開するよう児童が対話しているイラスト等で掲示し、伝え合いや交流を促す工夫がされている。一方で、思考を促す活動はみえにくいいため、児童の試行錯誤する意欲を促し、思考力・判断力・表現力等の育成につながる配慮や工夫が弱い。学習内容を家庭生活等に生かせるような写真やイラストを掲載しているが、発展的な学習活動を促す工夫は少ない。

学習内容に即して、イラストやセリフで、安全面での配慮事項や挨拶、話し方などが具体的に示され、生活上必要な習慣や技能に関する教材や活動が用意されている。

就学前の接続への配慮として、上巻の冒頭には、新しい環境に少しずつ馴染みながら遊んだり学んだりし、スムーズに学校生活へ入れるよう、写真や吹き出し等で示すなど、就学前の接続に配慮されている。

■光村図書出版「せいかつ たんけんたい」

単元を通して身近な対象について取扱い、教材写真がダイナミックに配置されているなど、興味・関心を高める工夫がされている。子どもの飾らない姿や本音が散りばめられたユニークなイラストコラムが設定され、内容に共感し、身近に感じることで、自らの学習に取り入れたり学習内容を実生活とつなげて活かしたりできるよう工夫されている。

各単元に「学び方のヒント」を設け、試行錯誤を促す工夫がされており、学習過程が見える写真とセリフから、学びを深めていく過程や、多様な表現方法を用い他者と伝え合ったり振り返ったりしている児童の交流活動が多く例示され、児童がイメージをもって活動にあたることができ、思考力・判断力・表現力の育成につながるよう工夫がされており、優れている。

小单元ごとに「感情」と「思考・態度」両方の面から学習を振り返る、「ふりかえろう」のコーナーが設けられ、児童が自身の思いを適切に表現できるよう、多様な表現方法を詳しく紹介することで、発展的な学習が展開しやすいように工夫されている。

単元の導入では今までの経験を取り入れることで、スムーズに学習に入る工夫がされており、導入・展開・振り返りの3段階で単元を構成し、子どもの表情豊かな写真やセリフを多用し、学習過程をわかりやすく提示することで、児童が見通しを持ちやすいよう、よく工夫されている。身近な対象・活動などに、繰り返しかかわることで体験活動が充実するよう配慮されており、学習を通して満足感や成就感を感じられる工夫がされている。

別冊の「ひろがるせいかつてん」では、実生活において活用できる技能や知識を身に付け、児童が主体的に活動を広げられるよう工夫がされている。四季ごとの同一場面の定点描写を掲載し、伝統行事や季節の行事、古くから伝わる遊びを掲載するなど、四季の変化や社会及び動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻冒頭に、子どもが安心し、自信をもって学校生活を始められるよう、「いちねんせいをはじめよ」の設定、中学年以降の理科や社会科などの学習に結び付けられる単元・活動の設定など、就学前の経験や他学年との連携に配慮・工夫がされている。

■新興出版社啓林館「せいかつ」

児童の生活圏が学習の対象や場として設定され、身近なものから好奇心や探求心を高め、「びっくりずかん」など、多様な資料の掲載、キャラクターや児童・教師の豊富なセリフを色分けするなど、気付きの質を高める配慮がされており、優れている。

単元の導入で学習のめあてなどを提示し、児童の気付きから思いや願いの実現に向けて多様な活動例が設定され、試行錯誤を促す工夫がされている。また、多様な表現活動や交流活動が掲載され、児童が活動に対しイメージを持ちやすいよう具体的な教室の様子を例示するなど、思考を深め豊かな表現力が身に付くよう工夫されている。

単元の導入は、単元扉と「わくわくタイム」で始まり、単元全体は、導入の「わくわく」、主たる活動の「いきいき」、振り返りの「ぐんぐん」の3段階で構成され、インデックスのようなレイアウト・色分けがされ、視覚的にも見通しが持ちやすくなっており、優れている。活動がステップアップする際には、次の活動に向けての思いや願いを例示した「めくり言葉」を右下に掲載し、単元のまとめに「ひろがるきもち」のコーナーを設け、単元を通して学びが連続的・発展的に深まり、成就感もてるよう工夫されている。

巻末には、「がくしゅうずかん」が設けられ、児童が学習活動や実生活で活用できる技能や知識を身に付けられるよう工夫がされている。四季ごとの同一場面の定点描写を掲載し、各季節の行事や各地の祭、旬の食材を掲載し、四季の変化や社会及び動物や植物等の自然との関わりが適切に提示されている。

上巻冒頭に幼児教育施設の職員と小学校教員とで共同制作し、双方の視点を取り入れた「すたあとぶっく」が設けられ、下巻の巻末「ステップブック」では振り返る活動とともに3年生での学習

活動を明示するなど、就学前の経験や他学年との連携によく配慮されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

| 選定の観点 | | 選定の視点 | | 東京書籍 | 大日本図書 | 学校図書 | 教育出版 | 信州教育 | 光村図書 | 啓林館 |
|-------|--|-------|---------------------------------------|------|-------|------|------|------|------|-----|
| 1 | 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。 | 1 | 気付きを引き出す活動や視点の提示 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | 2 | 学習内容と実生活の関わり重視 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 2 | 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。 | 1 | 試行錯誤や繰り返す活動の適切な設定 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ◎ | ○ |
| | | 2 | 伝え合い交流する展開や場の設定の工夫 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすい工夫・配慮されていること。 | 1 | 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2 | 発展的な学習活動を促すための工夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| | | 3 | ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 4 | 具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。 | 1 | 学習の見通しを持たせるための工夫 | ◎ | ○ | ○ | ○ | △ | ◎ | ◎ |
| | | 2 | 楽しさや満足感、成就感を感じられる主体的・対話的な活動や体験の充実 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 5 | 生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。 | 1 | 生活上必要な習慣や技能に関する教材や活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2 | 身近な人々や自然、四季の変化に関する教材や活動 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。 | 1 | 他教科や教育課題等との関連 | ○ | ○ | ○ | ◎ | △ | ○ | ○ |
| | | 2 | 就学前の体験との関連や他学年との接続 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| | | 3 | 家庭・地域との連携 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| 7 | 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。 | 1 | 人権教育の推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2 | 道徳教育の推進 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| 8 | 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。 | 1 | 文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2 | ユニバーサルデザインの視点 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 3 | 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 4 | 用紙、インク等の環境面への配慮 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【生活】観点別資料

【選定の観点1】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○児童や教師の発言やキャラクターの吹き出し等、気付きや思考のヒントを豊富に掲示するとともに、「学びをふかめる」では、児童が話し合う姿を通して、自身の気付きを確かなものとしたり、関連付けたりなど、気付きの質が高まる姿を具体的に示し、優れている。</p> <p>○児童の発達段階に配慮した身近で取り組みやすい学習活動や教材が重点的に取り上げられており、学習を活かして、生活を楽しくできるよう工夫されている。</p> | <p>○児童やキャラクターの発言を通して、気付きのヒントを与えたり、思考を促したりするなど、体験や活動の過程で自分自身や身近な人々、社会や自然の特徴・よさ等に気付くことができるよう工夫されている。</p> <p>○低学年児童にとって無理のない状況設定の中で、生活圏にあるものを学習対象とし、単元の導入では、子どもの思いや願いを基に学習がスタートすることで、身近な人々とのかかわりが生まれたり、継続して飼育栽培したりなど、実生活との関連を意識できるよう工夫されている。</p> | <p>○児童やキャラクターの発言を通して、気付きのヒントを与えたり、思考を促したりするなど、活動や体験の過程で自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴のよさ等に気付くことができるよう工夫されている。</p> <p>○実生活につなげやすいよう、単元の学習段階に応じた、複数の素材や教材、具体例を示すなど、地域や学校の環境、児童の実態・興味に応じて活用できるよう配慮されている。</p> | <p>○生活科の教科目標から「6つの力」を抽出してサイコロで表したものをページ左上に示すことで、学びの視点を提示し、学習のめあてをつかみやすくする配慮・工夫がされている。</p> <p>○校内から地域へと活動の場所を広げたり、諸感覚を使った自然体験を行ったりするなど児童の行動範囲が広がるよう工夫されている。</p> | <p>○単元の中で、登場人物の吹き出しが複数提示され、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付かせるための配慮がされている。</p> <p>○地域の習慣や行事に目を向ける活動や資料が示されているが、特定の地域や環境に限定されるものであり、本市での生活体験から乖離しているため、実感を持った学習がしづらい。</p> | <p>○児童が身近な対象について、興味・関心を高められるよう、これまでの経験を想起し、活動の見通しをもてる間いかけが用意されていたり、身近な学習材の写真がダイナミックに配置されていたりするなど、優れている。</p> <p>○子どもの本来の姿や本音が散りばめられたユニークなイラストコラムがページ右に設定されおり、内容に共感し、身近に感じることで、学習内容を実生活とつなげて活かせるよう工夫されている。</p> | <p>○「びっくりずかん」や「デジタルたんけんブック」には多様な資料が掲載されており、自然など、身近なものから好奇心や探求心を高め、気付きの質を高める配慮がなされている。キャラクターや児童・教師のセリフが豊富にあり、吹き出しを色分けするなど、気付きにつながる工夫がされており、優れている。</p> <p>○児童の生活圏が学習の対象や場として設定され、体全体で身近な環境に直接働きかける創造的な学習活動が行えるよう工夫されている。</p> |

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○ページ下部に配置されている「学びのプロセス」にイラストを用いて児童が生活科の「見方・考え方」を生かしながら学習を進めている姿が学習活動の流れに沿って具体的に示されるなど、児童が試行錯誤しながら思いや願いを実現する構成になっており、工夫されている。</p> <p>○具体的に表現活動のイメージがもてるよう、多様な表現方法が写真やイラストで紹介され、分かりやすい。</p> <p>交流の場面では、具体的な板書や掲示物、机の配置などの環境構成や児童の交流の様子がイラスト等で豊富に例示され、児童が多様な交流の仕方をイメージすることができるようになっており、優れている。</p> | <p>○活動の中で児童のつぶやきや会話が吹き出しで多く示され、思考を促す活動や試行錯誤をする際の意欲付けやヒントになっている。また、「まちたんけん」や「おもちゃ作り」など、気付きを高めながら活動を繰り返すことができるよう工夫されている。</p> <p>○気付きの交流の場面では、具体的な交流の様子がイラストや写真で例示され、振り返りや整理の場面での多様な表現方法や、発信の仕方についても多様な方法が紹介され、交流や伝え合いをしている具体的な様子を示すなど、児童が活動をイメージしやすいよう工夫されている。</p> | <p>○単元ごとに4人のキャラクターのうちの一人に注目して、その児童の成長や気付きの高まりを吹き出しや活動の様子によって示すとともに、「はっけんカード」や「かんさつ日記」などの学習カードが連続して例示され、対象に繰り返し関わり、気付きを高めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○単元末の振り返り場面などに、児童の気付きや思いを多様な表現方法で例示している。また、状況に応じて、活動を行う際の教室内の具体的なレイアウトなどを提示し、児童が活動の様子をイメージしやすいように工夫されている。</p> | <p>○各ページにある「？」の問いかけで気付きの質を高める工夫がなされている。また、各単元に「ヒント」のコーナーが設けられ、「見つける」「工夫する」などの学習活動の視点を示す等、工夫されている。</p> <p>○付箋を使って整理する活動などが例示されていたり、随所に思考ツールを用いた板書例があったりと交流中の思考の流れが見えるよう配慮されている。また、各単元の途中と終わりに、2人の児童がまとめた気付きや思考、思いがわかるカードなどが分かりやすく示されており、よく工夫されている。</p> | <p>○写真やイラストなどで具体的な活動が示されているが、思考を促す活動が見えにくく、カードなどの例も乏しいなど、子どもの試行錯誤や繰り返して取り組む意欲を促すための工夫が弱い。</p> <p>○児童が対話する様子を表すイラストでは、文字と児童の動作や児童の想像内容を併記して吹き出しなどを併用して伝え合う内容を想起させるなど、工夫されている。</p> | <p>○各単元に「学び方のヒント」を設定し、つまづいたときや試行錯誤する時に大切になる考え方とともに、活動、表現のヒントを示している。また、学習過程が見える写真とセリフが、どのように学びを深めていくのかをイメージしやすくしており、優れている。</p> <p>○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な表現方法を用い、他者と伝え合ったり振り返ったりしている児童の交流活動が多く例示されており、工夫されている。</p> | <p>○単元は、導入の「わくわく」、主たる活動の「いきいき」、振り返りの「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元の導入で「？」を提示し、気付きをもとに考えるための多様な活動例が示され、思いや願いの実現に向けて繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深めていけるよう工夫されている。</p> <p>○言葉、絵、動作、劇化、ICT機器の活用など、多様な表現活動や交流活動が掲載されており、思考を深め豊かな表現力が身に付くよう工夫されている。また、教師の言葉かけや立ち振る舞い、板書や机のレイアウトの例示は具体的で、児童が活動に対しイメージを持ちやすいよう工夫されている。</p> |

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|---|---|--|--|---|---|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○単元冒頭で、いきいきとした児童の活動写真を載せることで、活動や体験への意欲を喚起するとともに、ページ下段の「学びのプロセス」を示した部分では6人の登場人物の具体的なやりとりや成長していく姿が示され、子どもの活動意欲を引き出すよう工夫されている。</p> <p>○「学びをふかめる」コーナーでは、気付きの質が高まる姿がイラストの児童の発言等で具体的に示されており、発展させる手立てとなっており、工夫されている。</p> <p>○児童の思いや願いに合わせて多様な活動例、表現例が示され、児童の興味関心に応じて活用できる資料が、教科書紙面等、豊富に用意されている。また、ICT機器の有効な活用例が随所に掲載されているほか、6人の登場人物が考えや思いを伝え合う姿や他者と関わる様子の例示の仕方が工夫されている。</p> | <p>○単元冒頭に見開きで、学習内容を想起させる大胆な構成の写真を示し、学習意欲を喚起する工夫がされている。</p> <p>また、児童同士の交流場面では、次の活動の意欲につながるよう体験や表現を繰り返すように工夫されている。</p> <p>○飼育・栽培活動において家庭での活動を促したり、「やってみよう生活科」のページでは生活科で学んだことを使ってできる活動を紹介したりするなど工夫されている。</p> <p>○単元内ではICT機器等の活用例をイラスト等で示す等工夫している。また、登場人物が様々な方法で相手に表現している様子を示し状況に応じて表現方法を選択できるように配慮されている。</p> | <p>○単元冒頭には魅力的な写真・イラストを使った扉ページを設け、学習意欲を喚起できるよう配慮されている。リード文や登場人物のセリフなどが対話のヒントになっており、児童の意欲を引き出す手立てとなっている。</p> <p>○単元末では「もっと○○したい」のコーナーを設け、自分自身の生活につながるよう、さらなる活動・課題をひろげる工夫がなされている。また、「ものしりノート」「学び方図かん」等多数の資料が掲載され、児童が自ら活動を進める際に活用できるよう工夫されている。</p> <p>○「○○の作り方」「○○の使い方」など児童の活動を補助する資料が、紙面や「学び方図かん」等で用意されている。登場人物が2人組からグループでの対話へ発展するなど協働的な学びを例示したり、ICT機器を活用する場面を掲載したりするなど工夫されている。</p> | <p>○単元導入の児童の興味を高める「わくわくスイッチ」や、単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」などが設けられ、児童の探究意欲を高め、主体的な学びを促す手立てとなっている。</p> <p>○上下巻を通して親しみやすいキャラクターが登場し、キャラクターの驚きや喜び、困惑などのつぶやきは児童目線であるなど、探究意欲が深まるように工夫されている。</p> <p>○ICT機器の効果的な活用例を掲載し、どういう用途で使用しているかわかるようセリフを入れるなど工夫されている。上下巻を通して2人の児童の表現活動などを例示し、学習が進むにつれ内容が深まり、成長がわかる構成がされ、工夫されている。</p> | <p>○活動意欲を高めるよう、教科書の見開き全面に単元を象徴する写真や挿絵を掲載するとともに、児童の思いや願いから始まり、友達同士の学び合いや情報交換へと学習が展開するよう工夫されている。</p> <p>○学習内容を家庭生活等に生かせるような写真やイラストはあるが、具体的な手立てが見られず工夫が弱い。</p> <p>○友達同士の学び合いや情報交換の場面を例示するなどしているが、ICT機器の活用については、デジタルカメラ・電子黒板・タブレットのみで、個別最適な学びへの配慮が弱い。</p> | <p>○リアルな写真で意欲を喚起し、「学び方のヒント」で深め方が分かるように工夫されている。小單元ごとに「ふりかえろう」のコーナーが設けられ、児童自らが「気持ち」の面と「工夫したこと」「気づいたこと」などの両面から振り返ることで、自身の学びを確認できるよう工夫されている。</p> <p>○自分らしく学んでいる児童の姿がユニークな文と絵で豊富に表現され、様々な思いや考えがあることへの気づきを促し、多様性を大切に自己肯定感を育むことができるよう、工夫されている。</p> <p>○ICT機器の活用例やタブレットや電子黒板等を使い、記録したり情報共有したりする活用例が具体的に分かりやすく示されている。別冊の「ひろがるせいかつてん」では、多様な表現方法を詳しく紹介し、児童が適切な表現方法を選択できるよう工夫されている。</p> | <p>○単元の導入は、単元扉と「わくわくタイム」で始まり、単元は「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されている。活動がステップアップする際にはページ右下に、次の活動に向けての思いや願いを例示した「めくり言葉」を掲載するなど、単元を通して学びが連続的・発展的に深まるよう配慮されている。</p> <p>○「びっくりずかん」などの資料により、学習や個の必要に応じた資料を参照したり、提示したりできるよう工夫されている。単元のまとめに「ひろがるきもち」コーナーを設け、発展的な学びに繋がるよう工夫されている。</p> <p>○生き物の観察やおもちゃの動きなどを動画で撮影して記録したり見返したりする時や、分かったことや考えたことを発信する時などのICT機器の有効的な活用例を示し、工夫されている。</p> |

【選定の観点4】

具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。

| 発行者名 | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○学習のめあての記載箇所が単元ごとに決まった箇所が統一されており、単元末には単元のまとめの活動の様子が具体的に例示されているため見通しをもって学習を進めやすい。また、学習活動を季節のまとまりごとに色分けして例示されており、単元ごとに、また季節ごとに体験と表現のつながりや学習活動のまとまりを意識して学習することができる構成になっており優れている。</p> <p>○「学びをふかめる」のコーナーなどで児童の具体的な学びの姿が示され、学んだことを生かして自分の課題を解決しやすいようになっている。また、子どもの知的好奇心を高めるために、「かんさつずかん」などを設け、学習を深め広げることができるよう工夫されている。</p> | <p>○見開きごとに活動内容を整理し、何をすればよいのかが分かりやすく示されており、学習の見通しがもちやすい。また、伝え合いや交流の場面を設け、気付きを共有し、さらに次の活動への意欲につながったり、体験活動と表現活動が繰り返されたりする構成となっており、工夫されている。</p> <p>○単元の導入において見開きで大きな写真や絵を使い、子どもの興味・関心を引き出し、思いや願いから主体的に活動に取り組めるよう工夫がなされている。また、上巻の単元末の振り返りでは、自分の気持ちを顔の表情で表す「気持ちマーク」を、上巻の後半・下巻では自分の考えを書くスペースを設け、振り返ることで学習から得たことを感じとる活動が用意されており、工夫されている。</p> | <p>○各活動が見開きページで完結し、単元全体だけでなくひとつひとつの活動の見通しが持ちやすいだけでなく、各見開き左上には、活動のめあてと子どもの思いや願いをもとにした言葉があり、各見開き右下には次の学習への、期待感につながる言葉が掲載されており、学習の見通しが持ちやすいよう工夫されている。</p> <p>○子ども自身が活動への必然性をもち、自己決定していく場が設けられ、子どもの思いや願いを主にして活動を進めることができるよう配慮されている。また、単元の各所で子どもの学習意欲を喚起する写真やイラスト、吹き出しを掲載し、「ものしりノート」などの豊富な資料を広げていけるよう工夫されている。</p> | <p>○学習を通して引き出した力を6つに分類し、学習内容ごとに特に発揮すると効果的な力をサイコロマークで示すなど、学習の重点事項を意識できるよう工夫されている。また、活動と振り返りを繰り返す行い、子どもたちが自ら活動内容を把握し、見通しをもって学習に取り組むことができる構成となっており工夫されている。</p> <p>○単元のはじめには、「わくわくスイッチ」のページを設け、児童の意欲を高めると共に、学習を進める手立てとして「はっけんロード」を設け、児童の思いが表出しやすいようになっている。また、学習の見通しを立てたり、振り返ったりしながら、友達との対話によって考えを広げ、深める学習活動が繰り返されることで、充実した学びとなるようになっており、優れている。</p> | <p>○地域性を考慮した教材や、直接体験を重視した単元の構成になっていたり、身近な生活感をもてるよう単元の児童のつぶやきが右上に示されていたり、配慮はされているが、学習の見通しを持つ工夫が弱い。</p> <p>○季節の変化とかかわりのある地域の行事などに根差した人・もの・ことを単元に設け、自然豊かな地域で、豊富な動植物や地域の伝統行事等に関わりながら体験と表現を重ねることで、活動の楽しさや満足感につながるように工夫されている。</p> | <p>○単元の導入において、自分とのかかわりやこれまでの経験で感じた興味・関心を思い出しながら、活動の見通しがもてるように構成されている。また、単元が導入・展開・振り返りの3段階で構成され、各小単元は活動のめあてと子どもの問いから始まり、振り返りで次の小単元につなげるよう構成されており優れている。</p> <p>○身近な学習活動や対象に繰り返しかかわることで体験活動が充実するよう配慮されている他、子どもの自己決定による体験や主体的な表現活動につながるよう、学習を進めるヒントを六角形の中に示すなどの工夫がなされている。また、子どもが豊かな表情で学んでいる写真やセリフを多く掲載し、児童の意欲を高め、単元末の振り返りでは、活動中の出来事を「感情」と「思考・態度」両方の面から確かめられるようになっており、優れている。</p> | <p>○単元が「わくわく」「いきき」「ぐんぐん」の3段階で構成していることを分かりやすく可視化している。また導入に多くのページを使い、疑問や興味関心を引き出すことを重視した単元構成となっており、学習の流れが見通しやすく、優れている。</p> <p>○導入、主たる活動、振り返りの構成で、単元を通して活動が連続しながら発展し、主体的に学ぶことができるよう工夫されている他、対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面が設定され、子どもが考える場面が丁寧に示されている。単元末の振り返りでは、自らの成長や学びの深まりを実感できるようチェックコーナーが設けられているなど、成就感がもてるよう工夫されている。</p> |

【選定の観点5】

生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○巻末に、学習に必要な知識や技能を示した「かつどうべんりてちょう」と、実物大の動植物を示した「ほんとうのおおきさ いきものずかん」が設けられ、実生活でも活用できるよう工夫されている。</p> <p>○季節単元では、公共施設やまちの様子も例示されており、季節の変化によるまちの人々の様子の変化を視覚的に捉えやすいうえ、定点から描写することで、季節ごとの変化を児童が気付きやすくする工夫がみられる。また、季節ごとに地域の祭りや伝統行事が複数掲載され、日本の文化のよさや季節の変化を感じられるように配慮・工夫されている。</p> | <p>○巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が設けられ、安全に関すること、公共のルール、道具の使い方など、学習活動や実生活において活用できる技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○秋の色をモノクロとカラーの写真で対比させて示したり、地域の人と関わる場面を写真で具体的に示したりして、児童が人々と自然と関わり四季を実感できるように工夫されている。また、季節に関連した昔遊びや地域の行事、日本固有の風物詩などを取り上げ、日本の伝統文化に愛着がもてるよう配慮・工夫されている。</p> | <p>○巻末の「せいかつか まなびかたずかん」では、「話す」「聞く」「書く」「考える」などの技能が具体的に示されており、実生活において活用できる技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○四季の遊びこについて、その季節に出会える素材を使った遊びを中心に掲載した「ものしりノート」や、同一場面を季節ごとに比較できるページが用意されており、自然の様子や四季の変化に気付けるよう工夫されている。また、地域の伝統的な行事や季節の伝統的な遊びなどを例示し、日本文化や季節の変化を感じられるよう配慮・工夫されている。</p> | <p>○巻末には「学びのポケット」が掲載され、他教科等との関連も意識しながら、学習を進めていくにあたって必要な技能を習得・活用できるよう、工夫されている。</p> <p>○「どこに春があるかな」などの問いかけがあったり、季節ごとの定点イラストを掲載したりして、自然の様子や四季の変化に気付けるよう工夫されている。また、夏の祭りや冬の伝統行事などを例示し、日本文化や季節の変化を感じられるよう配慮・工夫されている。</p> | <p>○学習内容に即して、イラストやセリフで、安全面での配慮事項や挨拶、話し方などが具体的に示されるなど、工夫されている。</p> <p>○季節ごとの定点イラストを見開きで掲載することで、自然の様子や四季の変化に気付けるよう工夫されている。「端午の節句」「七夕」「お月見」「お正月」「節分」「雛祭り」など、季節の変化とかわりのある地域の行事を掲載し、行事に込められた願いや思いに気付くことができる構成になっており、工夫されている。</p> | <p>○別冊「ひろがるせいかつじてん」では、イラストを用いて、挨拶や言葉遣い、公共ルール、道具の使い方や様々な遊びなど、学習活動や日常生活において、活用できる技能が示されており、工夫されている。</p> <p>○「なつとちがうところはどこだろう。」などに、遊んでいる表情の豊かな子どもの写真や季節ごとの定点写真が掲載されており、自然の様子や四季の変化に気付けるよう工夫されている。また、伝統行事や季節の行事、古くから伝わる遊びを掲載し、子どもたちが身近な伝統や文化に目を向けるきっかけになるよう工夫されている。</p> | <p>○巻末には、「がくしゅうずかん」が掲載され、安全に関すること、道具の使い方など、学習活動や実生活において活用できるよう工夫されている。</p> <p>○校庭や公園の定点イラストなどを載せ、自然の様子や四季の変化に気付けるよう工夫されている。各季節の行事や伝統行事・各地の祭りや旬の食材などを例示し、日本文化や季節の変化を感じられるよう工夫されている。</p> |

【選定の観点6】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○他教科等の学習内容や資質・能力が、「つながる○○」というコーナーや、単元の各所にセリフ等で掲載されており、他教科等と関連付けた学習を進めやすくなっており、工夫されている。</p> <p>○上巻はじめに、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を絵と文章で示し、合科的・関連的な学習活動を付帯的に示すとともに、単元の導入では幼児期の経験を生かす活動を例示するなど、幼児期との接続に配慮している。また、地域や自然にかかわる活動など、中学年での社会科、理科、総合的な学習の時間との接続についても工夫され、優れている。</p> <p>○スタートカリキュラムの説明や通学路の安全を確かめる活動を掲載するとともに、住みまちの探索の単元では地域の人との関わる活動を設け、家庭や地域との連携への配慮がなされている。</p> | <p>○単元内で示された児童の活動例の中で、特に他教科との合科的・関連的な学習が効果的な場面には教科名を示し、生活科と他教科の相互の関係を意識した学習を進めやすくなっており、工夫されている。</p> <p>○上巻冒頭に、子どもが安心して学習や学校生活に入り込めるよう、学校生活の楽しさや幼児期に慣れ親しんだことをもとにした環境づくりを示している。</p> <p>○町の人を発表会に招待したり、家の人と、学習で訪れた施設や店を訪れる様子を示したりし、児童が学習していることを家庭や地域の人と共有する配慮が見られる。</p> | <p>○「話す」「聞く」「書く」といった国語的要素を重視し、巻末の「学び方図かん」で、作文の書き方などを分かりやすく示すなど他教科との関連がとれるよう工夫されている。</p> <p>○上巻冒頭では、小学校への不安を解消し、小学校が安心できる場所と分かるページや、幼児期の経験や活動を繰り返す場面が用意されている。また、下巻では、生き物やおもちゃ等の単元で中学年以降の学習の素地を養うことができるよう、「理科へのまど」といった発展的な活動が示されたり、終盤では3年生から始まる教科等を紹介したりするなど、就学前の経験や他学年との連携に配慮・工夫がされている。</p> <p>○身近な公園や公共物、地域のお店や人々とかかわる活動を取り入れ、身近な人々への視点の広がりを意識した展開となっている。生活科の</p> | <p>○巻末の「学びのポケット」では、生活科において身に付けた資質・能力を他教科でも活用できるよう提示するとともに、他教科等との関連をアイコンで示すなど他教科等との関連が分かりやすく示されており、優れている。</p> <p>○上巻巻頭では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とそれに相当する小学生の姿を同じページに写真で示すことで、幼児期の学びが小学校でも活かされるよう工夫されている。また、下巻では3年生の学習を見に行き活動を設定し、理科や社会科の学習を紹介するなど中学年との接続に配慮されている。</p> <p>○目次のページに生活科で育てたい資質・能力などについて保護者へメッセージが掲載されている。また多様な家庭環境に配慮した活動内容が設定されるとともに、単元末には、家の人との交流を</p> | <p>○ICT機器を利用した活動場面を例示するなど工夫されているが、他教科との関連を意識させる工夫は少ない。</p> <p>○入学前の児童の発達の特徴を考慮し、上巻冒頭には、新しい環境に少しずつ馴染みながら遊んだり学んだり、スムーズに学校生活へ入れるよう、写真や吹き出し等で示すなど、工夫されている。</p> <p>○地域の慣習や行事に目を向けた活動や資料を豊富に掲載し、地域に密着した人・もの・ことを取り入れ、ふるさとへの愛着を深められるよう意識されている。生活科の意義や各単元での育成したい資質・能力が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載している。</p> | <p>○生活科と各教科等で育てたい資質・能力という視点から、他教科等との合科的・関連的な学習のヒントを活動の中に示したり、他教科との合科的・関連的な指導の具体例を示したりするなど、工夫されている。</p> <p>○上巻冒頭に、家庭との連携も意識した「いちねんせいが始まるよ」を設け、子どもが安心して、自信をもって学校生活を始められるよう、配慮されており、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を絵で示し、「どんなことができかな」と問いかけて、児童の育ちを見取るように配慮している。また、校区地図の活用やおもちゃ作りなど、中学年以降の理科や社会科などの学習に結び付けられる単元・活動も設定しており、工夫されている。</p> <p>○生活科の意義や各単元での育成したい資質・能力が伝わるよう、単元の導入場面</p> | <p>○表現する場面などにおいて各教科等の学習で育成を目指す資質・能力も意識した学習活動の充実を図る工夫が見られ、他教科等との関連がある活動には合科的・関連的な学習活動を示すマークを付すなど、工夫されている。</p> <p>○幼児期の学びから、各教科の学習に円滑に移行できるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の事例が豊富に掲載され、児童が安心感をもって学習できるよう工夫されている。上巻冒頭の「すたあとぶつく」は幼児教育施設の職員と小学校教員の共同制作で、双方の視点を取り入れ、連携を意識している。下巻の巻末「ステップブック」では振り返る活動とともに3年生での学習活動を明示するなど、中学年以降の学びの配慮がなされており、優れている。</p> <p>○多様な家庭環境に配慮し</p> |

| | | | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|--|--|--|
| <p>また、生活科の意義が伝わるように、「小さな気付きを大きな未来に」と保護者に向けての文章を背表紙に掲載している。</p> | | <p>意義や各単元での育成したい資質・能力が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻末に掲載している。</p> | <p>うながす「つたえたいな」が設定されており、工夫されている。</p> | | <p>で、「保護者の皆様へ」として、単元目標を示し、家庭とイメージを共有できるよう、よく工夫されている。単元の終わりには、学んだことを家庭で話したり、日常生活でも継続したりできるよう示されている。また、地域にかかわる単元や地域の慣習や行事に目を向けた活動や資料を豊富に掲載し、優れている。</p> | <p>た活動内容が設定されている。また生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻末に掲載するとともに、「おうちで もっと せいかつか」では、長期休業中などに家庭でできる生活科の学習例を保護者へ示し、生活科の意義が伝わるように工夫されている。</p> |
|--|--|---|--------------------------------------|--|--|--|

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>また、登場する児童や地域の人、家族の人数や役割は性別に偏り等のないように配慮されている。</p> <p>○単元各所右上の「やくそく」や各巻巻末の「かつどうべんりてちょう」において、マナーやルールなどを示すとともに、生命の尊さに気付く活動、あいさつや言葉遣いなど生活上必要な習慣に関する資料を掲載するなど、道徳的視点について配慮できるよう工夫されている。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>また、登場する児童や地域の人、家族の人数や役割は性別に偏り等のないように配慮されている。</p> <p>○各巻巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」において、児童がマナーやルールなどについて意識できるよう工夫されている。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>また、登場する児童や地域の人、家族の人数や役割は性別に偏り等のないように配慮されている。</p> <p>○単元各所の「やくそく」において、「どうしてかな」とルールやマナーについて考えられるよう工夫されており「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えることや、4人の登場人物同士がお互いを認め、励ます声かけを示すなど、他者や自然を大切に、他者を思いやる心を育むことができるような構成となっており、優れている。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>○「学びのポケット」やコラムなどでマナーやルールなどを適宜取上げるとともに、ICT機器を使用する際の注意や約束についても記載している。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>○地域に生まれ育つ児童が四季を通してその場所に関わったり、動植物と継続的にかかわったりする場面を多く設定し、郷土愛や生命尊重などの道徳的視点について配慮できるよう工夫されている。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>○すべての単元において気付きや思考とともに、学習を通して「感じたこと」や「気持ち」の面から学習を振り返る活動を積み重ねることで、道徳的視点について児童が自然に意識できるよう工夫されている。また、「こんなこともあるかもね」のコラム等で、多様な考え方・感じ方を示し、他者の尊重や自己肯定感の育成など、道徳科との連携も意識されており、優れている。</p> | <p>○学級に外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を登場させ、街なかや公園の挿絵などでは、多様な人々を登場させ、自分の生活と結びつけられるよう配慮されている。</p> <p>また、登場する児童や地域の人、家族の人数や役割は性別に偏り等のないように配慮されている。</p> <p>○挨拶やマナーなど、道徳的視点が適切に取り扱えるよう「こんなときどうしよう」のコーナーや「がくしゅうずかん」に資料が設けられている。また、ICT機器を活用する際に必要となる情報モラルについて学ぶことができるコーナーや資料が設けられている。</p> |

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

| 発行者名 | | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|--|
| 2 東京書籍 | 4 大日本図書 | 11 学校図書 | 17 教育出版 | 26 信州教育出版 | 38 光村図書 | 61 啓林館 |
| <p>○小単元名やマークなどを定位置に配置し、読みやすくしている。学習活動は、四季を表す色の背景に白抜き文字、その下に子どもの思いや願いなどは黒色の文字で表し、区別がしやすいよう工夫されている。</p> <p>○UDフォントを使用、文節で改行・分ち書きを使用、上巻はひらがなのみ、下巻は漢字にふりがなを付すなど工夫がされている。紙面は落ち着いた淡い色調で統一している。</p> <p>○紙面がA4版で見やすく、掲載内容を厳選・自社開発の軽量用紙を使用し、軽量化している。スタートカリキュラムページなど用紙の幅や大きさを変え、分かりやすいよう配慮・工夫されている。</p> <p>○再生紙・植物油インキを使用し、環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング設定工場」で印刷している。</p> | <p>○学習活動や子どもの言葉の文字が大きく、他の文字との差別化がされ、認識しやすい。</p> <p>1つの活動の例示を見開きで構成し、小単元名、本文、吹き出しの活用や写真・イラストなどをバランスよく配置している。</p> <p>○UDフォント・教科書体を使用、大きさや分量、文節改行、配色に配慮している。上巻（3学期以降）で漢字にルビを付し、片仮名は2学期終わりまでルビを付すなど、工夫されている。</p> <p>○表紙は丈夫で汚れにくい加工を施し、長期の使用に十分耐える造本となっている。</p> <p>奥までよく開くことができよう綴じ方にも配慮・工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した目に優しい紙や植物油インキを使い、環境に配慮している。</p> | <p>○原則、ひとつの活動が見開きで構成され、見出しやカードの位置を定位置に配置し、分かりやすく工夫している。</p> <p>○UDフォントを使用し、専門家指導のもと見やすくなりやすい配色がされている。上巻と下巻で本文の大きさが変えられ、文節改行、漢字のルビは児童の学習進度に合わせてふられており、工夫されている。</p> <p>○A4変形版で軽量化にも配慮し、表紙は汚れや濡れに強いコーティングを施し、堅牢さを堅持しながら開きやすく、のどの部分も見やすく製本するなど工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙や植物油インキを使い、環境に配慮している。</p> | <p>○文字やイラストどうしが重ならないように配慮し、具体的で簡潔な言葉で表現することで適切な文字量になっている。図解や動植物のイラストは、正確なタッチで表現され、工夫されている。</p> <p>○UDフォントを使用、上巻（2学期以降）下巻とも配当学年の漢字（ルビ付）と片仮名で表記されている。CUDマークを取得、色覚の特性に十分配慮されている。</p> <p>○A4版で、表紙には抗菌加工と汚れ等に強いコーティングを施し、堅牢な造本となっている。</p> <p>○裏映りしない軽い再生紙、植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮されている。</p> | <p>○臨場感あふれる写真と細部まで細かく描かれたイラストが大きく見開きで表され、児童の興味をひく工夫がされている。</p> <p>○CUDを採用し、全体的に落ち着いた色調で、必要な情報が伝わるよう配慮されている。</p> <p>○AB版・右綴じ縦書きで、大きく開けられるページは、開きやすいよう紙面の幅を変える配慮・工夫がされている。</p> <p>○再生紙、植物油インキを使用し、環境に配慮している。</p> | <p>○活動を左ページに縦書き、子どもの思いや願いを左ページ上部に横書きに固定で配置し、分かりやすくしている。写真等にふきだしが重なる際は色や影をつけ、見やすくなるよう工夫されている。</p> <p>○特支教育及びユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、読みやすいよう配慮されている。文字数や字間を調整し、全体的に挿絵の世界観に合わせたやさしい色調を使用しながら明確に識別できる配色がされ、工夫されている。</p> <p>○表紙と上巻資料「きせつのなかまたち」は、防水効果があって汚れにくい撥水コーティング加工が施されており、製本は堅牢である。</p> <p>○環境に負荷の少ない用紙を使用、エコマーク認定の植物油インキで印刷し、環境に配慮している。</p> | <p>○学習活動などの見出しがページの同じあたりに配置され、学習を進めていく際、ページをめくっても追っついていきやすいよう工夫されている。</p> <p>○UDフォント、紙面の内容が判別しやすい配色とデザインを採用、特支教育専門家による監修のもと、文字の大きさや量・配色・デザイン・レイアウト等、工夫されている。</p> <p>○取扱やすいAB版で開きやすく紙面が広く見える造本、表紙は汚れや濡れに強い加工が施されている。巻頭の「すたあとぶつく」は小寸サイズで下の角が丸く加工され、親しみやすい。</p> <p>○軽くて印刷が鮮明な再生紙や植物油インキを使用し、環境やアレルギーに配慮されている。</p> |

※UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント、CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン